

化学物質による危険の「見える化」

I. 過去の教訓の見える化

◇過去の災害場所に事例表示



◇過去のトラブル機器 教材化



過去の災害を風化させない

化学物質による危険の「見える化」

Ⅱ. 緊急時処置の見える化

◇緊急用シャワー 洗眼時間の表示



◇泡消火設備プロポーショナー操作 表示



◇緊急時設備停止マニュアルボード'掲示



計器室に掲示

回収設備緊急停止マニュアルボード

- I・II 加熱炉ガス遮断弁 閉 (緊急盤にて)**
 - 各バーナー消火確認
 - I、II 加熱炉 各1, 2次ダンパー、点検孔 開
- I・II-ST ダイレクトスチーム 停止**
 - ダイレクトスチームFICV 自動→手動切り替え全閉 (TDCSにて)
 - ダイレクトスチーム 各ドレン抜き弁 閉→開
- II 回収 脱ピッチ塔ダイレクトスチーム停止**
 - ダイレクトスチームFICV 自動→手動切り替え全閉 (TDCSにて)
 - ダイレクトスチームドレン抜き弁 閉→開
- II 回収CNセパレーター-LICV閉 (TDCSにて)**
 - CNセパレーター I、II 回収単独運転時 I 回収 LICV 開→閉
 - ST還流Pu停止
- 各ポンプ停止 (緊急盤 緊急停止SWIにて)**
 - 脱水塔装入Pu、加熱炉装入Pu、ST拔出しPu停止確認
 - 各ポンプ 操作スイッチ OFFボタン押す
 - 各ポンプ 出口弁 閉→開 (各ライン圧抜き確認)
- 倉、脱ベンタンの連通弁 閉→開 (緊急盤にて)**
 - 捕集、回収 各 連結→自己循環へ切替

※ 赤太線字の大項目を実施したのち、各手動弁 閉などの作業をする

制定 2014年 3月 20日

プロポーショナー操作方法

《手順》

- 消火ポンプ起動確認をする。
- A. 弁を開ける。
- B. 弁を開ける。
- C. 弁を開ける。
- タンク行弁を開ける。又は消火栓コックを開ける。
- 放水を確認する。

小型プロポーショナー使用

No.1 2 3000L RT/TK発災時は 2200L 上記手順にて D. E. F. 開とする。)

→ 常時 (開) ハルブ
→ 常時 (開) ハルブ

→ 一般取扱所ローリー出荷庫ドラム充填場
→ 400L 95%ナフタリン溶タンク
→ MPX設備

タンクヤード

- No.1 3000K L ロードターム・タンク
- No.2 ロードターム・タンク
- 軽ターム・タンク
- 300 K L ナフタリン貯留タンク
- 350 K L 脱酸カルホル溶タンク
- 300 K L 軽ターム溶タンク

クレンジル製機設備

- 軽ターム 脱酸機
- ターム 蒸留設備
- ナフタリン蒸留設備
- 脱酸設備

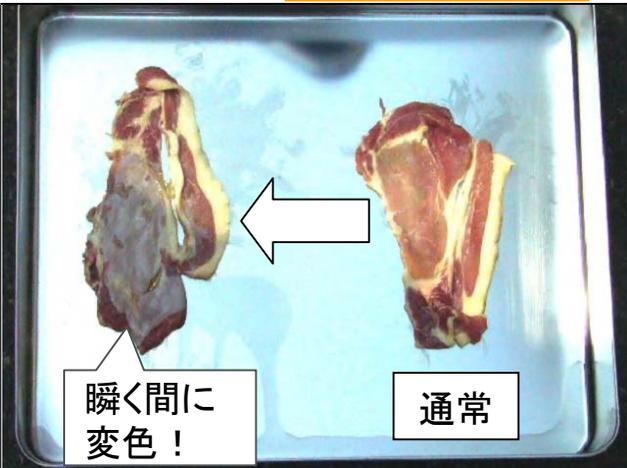
2200L Cタンク

2200L B1タンク

Ⅲ. 化学物質飛散リスクの見える化

◇硫酸の飛散リスク体感(薬傷)

肉に硫酸を添加



◇残圧配管の危険性体感



フランジからの飛散

◇サンプリングボックスによる飛散リスク回避



サンプリングノズルをボックスでカバー



◇吹き出し注意喚起表示



ドレンピットより吹き出し

IV. 安全ポイントの見える化

◇設備内保護面着用エリア設定と注意喚起表示



◇ボールバルブ 開閉方向表示



色別し一目で判る見える化

◇化学物質の種別で出荷ライン色別



出荷用フレキホース



出荷配管

色別で誤接続防止

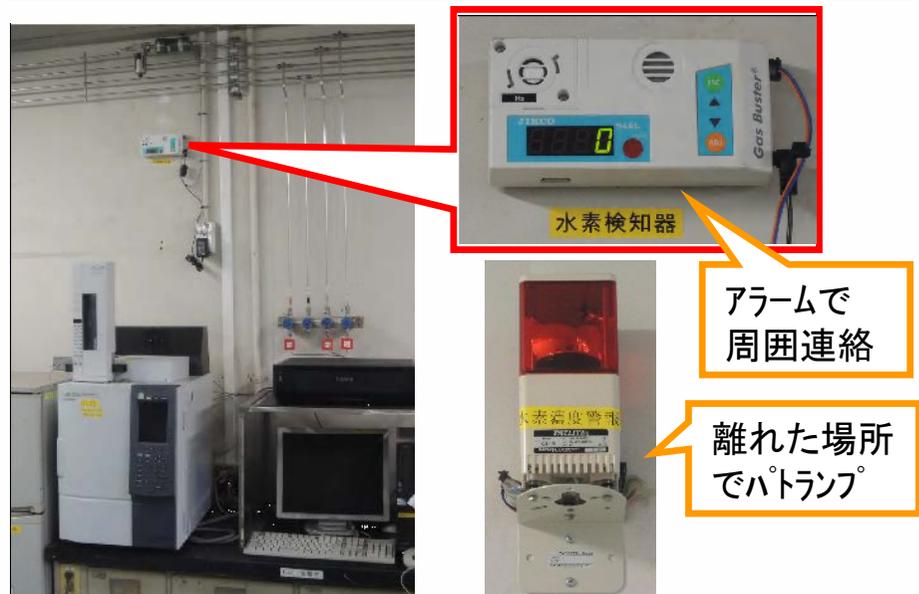
化学物質による危険の「見える化」

V. 研究室・分析室のリスクの見える化

◇分析室 保護具ルール表示



◇ガスクロ室 水素検知器による漏れ見える化



◇小分けビン 有機溶剤認識表示



◇ガスクロ 開閉札表示

